

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	政治学概論B（Survey of Political Science B）		
ナンバリングコード	E31503	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 教職科目 / 応用レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	選択：教職 教職関係科目（必修）：高等学校教諭一種免許状（公民） 教職関係科目（選択）：中学校教諭一種免許状（社会） ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	EK00851	クラス名	-
担当教員名	斉藤 雄次		
履修上の注意、履修条件	授業中の飲食や私語をはじめとする迷惑行為は慎むこと。これらは秩序を乱す行為であり、社会的にも望ましくないためである。 また国際政治は国内政治と同様、日々刻々と変化する「なまもの」である。新聞やニュースなどで扱われている情報にも注目し、国際政治に対する理解を深めたり、世界観を広げていただきたい。		
教科書	特になし。そのつど資料を配布する。		
参考文献及び指定図書	杉浦功一『変化する世界をどうとらえるか』（日本経済評論社、2021年） 小副川琢『世界情勢を読み解く国際関係論』（五月書房新社、2024年）など		
関連科目	なし		

○基本情報		
授業の目的	国際政治を動かすアクターは様々な国・地域であり、組織であり、人である。そうしたアクターが相互に関わって形成されている現在の国際秩序や、それによっては解消されない様々な問題に対する理解を深め、国際社会のあり方を考えることが本授業の目的である。 また、本科目は教職関係科目ということで、中学校社会科や高等学校公民科の教科指導を行うにあたって必要な知識や考え方の修得とも関わりがある。本授業の目的は、国際政治や国際政治学に関する教養を高めるだけでなく、社会科の教員、公民科の教員として求められる教科指導力の基礎を培うことにもある。	
授業の概要	国際政治学や国際関係論の議論ももとに、現代の国際関係の歴史や基本的構造を理解したり、今日の国際関係を考える上で重要な論点や押さえるべきテーマを分析し、問題の背景や問題解決の道筋を検討する。その上で、日本と他国との関係のあり方や国際社会のあり方について考える。 また、そうした学修に役立つように、適宜、自分の関心のある「国際政治的」事象などについて掘り下げて調べてもらう活動や、グループワークも取り入れる。 さらに、中学校社会科や高等学校公民科の教科書等も用いながら、国際政治学や国際関係学の学問的議論と教科書記述とのつながりについても考えてもらう。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	国際政治や国際政治学などの議論に関心を示し、社会科・公民科教員になることを含むこれからの自身の生活に、学修内容を活用してこうとする意欲や態度を有している。		15点	10点
【知識・理解】	国際政治の仕組みに関する理解や国際政治学などの議論に関する知識の修得に努め、自分なりに国際政治やそれにまつわる争点を理解することができる。	20点	15点	
【技能・表現・コミュニケーション】	ワークシートへの記入やグループワークなどを通じて、自らの意見を表現したり、他者から様々な意見を引き出したりすることができる。		15点	10点
【思考・判断・創造】	あるべき国際政治の姿を考えることを通じて、あるべき国際社会の姿についても考え、自らの立場に基づいた見解を述べるることができる。		15点	
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
事前課題や事後課題、グループワーク時の取り組み状況なども、平常点として評価の対象に加える。 この平常点の成績評価に占める割合は高いため、提出率の低い場合や不備が多い場合、評価は大きく下がることになる。 また、学期末には期末レポートを課すが、それに対しては必要に応じてコメントを加えるなどのフィードバックを行う。 なお、期末レポートの作成にあたっては『知へのステップ』を参照するなどして、学術的作法を守ることが強く求める。				
○その他				
本講義の成績評価と、それに対応する資質・能力との対応は以下の通りである。 Sレベル：授業で扱う国際政治学や国際関係論の知識を十分に理解し、国際政治のあり方について多角的・論理的に説明ができる。 Aレベル：授業で扱う国際政治学や国際関係論の知識を概ね理解し、国際政治のあり方について多角的に説明することができる。 Bレベル：授業で扱う国際政治学や国際関係論の知識をある程度理解し、国際政治のあり方について自分の言葉で説明ができる。 Cレベル：授業で扱う国際政治学や国際関係論の知識を最低限理解し、国際政治のあり方について自分の言葉で最低限説明ができる。 グループワークや自ら調べまとめ、それを共有する活動を通じて、自分の考えを他者に伝えるように話す力、他者の意見を聞いて自らの考えを省みることのできる力、必要な情報を取捨選択する力などを高めていただきたい。それらの能力は、中学校社会科や高等学校公民科の教員になるにあたって、あるいは他の職に就き、社会のなかで生活していく上でも役立つはずである。 また一般教養としての国際政治に関する知識や考え方を提供するだけでなく、教職に就く上でも必要となる国際政治に対する知識や考え方を提供し、多面的・多角的な国際政治に対するイメージを構築することも、本授業は目指している。 そのため、講義を欠席することは、社会で生きていくための最低限の教養や、国際政治分野を生徒に教えるための最低限の知識を得る機会を失うことを意味する。自分が将来社会に出て損をしたり、教育実習等の場で生徒に誤った知識を教えないためにも、全ての回出席することを、当たり前にしていただきたい。				

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	政治学概論B（Survey of Political Science B） 齊藤 雄次	授業コード	EK00851
学修内容				
1. 国際政治(学)を学ぶとは				
受講生のイメージする国際政治と学問的議論における国際政治の共通点と相違点について確認するとともに、国際政治学、また国際政治学と関係の深い国際関係論とはどのような学問であるのかについて概観する。				
予習	国際政治学、国際関係論に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
2. 国際政治のあゆみ(1)－「主権国家」体系の成立と国際政治				
欧州諸国で領土や主権が確立され、「ウェストファリア体制」が成立した時期の前後の動きを把握し、主権国家体系の成立について理解する。				
予習	国際政治学、国際関係論に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
3. 国際政治のあゆみ(2)－2度の世界大戦と国際政治				
国際連盟や国際連合の設立に関わる、第一次世界大戦および第二次世界大戦に焦点を当て、当時の国際政治の状況について理解を深める。				
予習	国際政治学、国際関係論に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
4. 国際政治のあゆみ(3)－冷戦とポスト冷戦				
アメリカ、ソ連という二大大国の緊張関係を機に地域的な安全保障体制が確立した冷戦期、また冷戦が終結しても平和ではなく分断がもたらされたポスト冷戦期に焦点を当て、当時および近年の国際政治の状況について理解を深める。				
予習	国際政治学、国際関係論に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
5. 国際政治の見方・考え方－リアリズム、リベラリズム、マルクス主義、構成主義				
国際政治および国際関係の事象の分析に役立つ主要な理論であるリアリズム、リベラリズム、マルクス主義、構成主義について理解を深め、現実の国際政治および国際関係を見る視点や考える視点を身につける。				
予習	国際政治学、国際関係論に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
6. 国際政治をめぐる問題(1)－グローバル化と貧困問題				
国際政治および国際関係の見方・考え方をもとに、人やモノ・サービスが国境を超えて移動し、世界が結びつくグローバル化の動きがもたらした、貧困問題を含む様々な功罪について理解し、国際社会のあり方を考察する。				
予習	国際政治学、国際関係論に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
7. 国際政治をめぐる問題(2)－戦争・紛争				
国際政治および国際関係の見方・考え方をもとに、国家間の戦争の問題や、国内で起こる民族紛争や内戦の問題について理解し、国際社会のあり方を考察する。				
予習	国際政治学、国際関係論に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
8. 国際政治をめぐる問題(3)－人権と民主化				
国際政治および国際関係の見方・考え方をもとに、男女間の不平等などジェンダーをめぐる問題も含めた、人権・民主主義に関わる問題について理解し、国際社会のあり方を考察する。				
予習	国際政治学、国際関係論に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	政治学概論B（Survey of Political Science B） 齊藤 雄次	授業コード	EK00851
学修内容				
9. 国際政治をめぐる問題(4)－地球環境問題				
国際政治および国際関係の見方・考え方をもとに、一国だけでは解決が難しく、各国が足並みを揃える必要のある地球環境問題について理解し、国際社会のあり方を考察する。				
予習	国際政治学、国際関係論に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
10. 国際社会のいま(1)－南アジア、中央アジア、中国				
国際政治および国際関係のいまを考えるために、南アジアや中央アジア、中国といった地域・国々に焦点を当て、その現状と課題について考察する。				
予習	国際政治学、国際関係論に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
11. 国際社会のいま(2)－朝鮮半島、東南アジア				
国際政治および国際関係のいまを考えるために、韓国や北朝鮮、東南アジアといった地域・国々に焦点を当て、その現状と課題について考察する。				
予習	国際政治学、国際関係論に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
12. 国際社会のいま(3)－ヨーロッパ、ロシア				
国際政治および国際関係のいまを考えるために、ヨーロッパやロシア、コーカサスといった地域・国々に焦点を当て、その現状と課題について考察する。				
予習	国際政治学、国際関係論に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
13. 国際社会のいま(4)－アングロアメリカ、ラテンアメリカ、アフリカ				
国際政治および国際関係のいまを考えるために、アメリカ合衆国やその他アングロアメリカ諸国、ラテンアメリカ、アフリカといった地域・国々に焦点を当て、その現状と課題について考察する。				
予習	国際政治学、国際関係論に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
14. 国際社会のいま(5)－中東、オセアニア				
国際政治および国際関係のいまを考えるために、中東諸国やオセアニアといった地域・国々に焦点を当て、その現状と課題について考察する。				
予習	国際政治学、国際関係論に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
15. 総括				
これまでの学修内容を踏まえて、あらためて国際政治に対する自己の認識を振り返る。そして、国際政治や国際社会はどのようなべきかについて、国際協調やグローバル・サウスの視点から考察する。				
予習	配布資料をもとに、これまで学んできた国際政治学や国際関係論の知識や考え方などを整理する。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
16. 期末試験				
予習				
復習				